

Aprire

秋田大学広報誌【アプリーレ】

No.

71

2021.04



【特集】

新入生への メッセージ

- 02 学長メッセージ
- 04 学部長・学生から
新入生の皆さんへメッセージ
 - 国際資源学部
 - 教育文化学部
 - 医学部
 - 理工学部
- 13 学外の有識者から
新入生へのメッセージ
包括連携協定記念コラム
- 14 新型コロナウイルス感染症対策の
学生支援制度・学生サポート
- 16 秋田大学みらい創造基金



COVER PHOTO

今回の表紙写真は昨年度挙行了した学位記授与式の様子です。新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式を中止せざるを得ない状況となり、学部・学科ごとの式となりました。大学が以前の活気を取り戻すにはまだまだ時間を要します。本学は、学生を全力で応援して参ります。コロナに負けず、早く以前の様な学生の笑顔に溢れたキャンパスに戻ることを願っています。 広報課

新入生へのメッセージ

秋田大学長 山本 文雄

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスのパンデミックにより、すべてが自粛、自粛の状況で、諸君は精神的にこれまでにないくらい振り回されたことでしょう。高校や塾等の長期休校、オープンキャンパスなど

様々な催しの中止や大幅な規模縮小、あるいはオンラインでの開催など、これまで誰も経験したことのない日常の中、受験勉強や進路選択に殊の外苦勞したと推察しています。そのような状況の中、秋田大学を進路先として選んでくださった皆

さんを心より歓迎するとともに、ご期待に応えることができよう、私たち教職員一同しっかりと皆さんを支援していきつもりです。私は、学長就任以来、「学生第一」をモットーとして掲げ、大

学経営に当たってまいりました。一人ひとりの学生さんを大切にしっかりと鍛え育て、社会に送り出すことが大学の使命であると考えております。秋田大学のこれまでの伝統をしっかりと継承しつつ、社会の変化に迅速に対応し、コロナ禍を乗り越えた先の未来の創造

に積極的に取り組んでいける人材の育成が重要と考え、AI・データサイエンス教育の充実に注力するとともに、「新しい生活様式」を踏まえ、対面授業とオンライン授業の利点を考慮したハイブリッド的な授業形態等、様々な学修環境の整

備を進めてまいります。また、慣れない環境で不安を覚えている学生さんに向けた相談窓口の充実のほか、学資や生活費に困窮している学生さん向けの経済支援の充実など、きめ細やかな学修環境や学生支援を提供しております。

大学生活は走り幅跳びの助走に例えられます。助走の仕方により、飛べる距離も、飛ぶ姿勢の美しさも、大きく変わってくることは皆さんも理解できると思います。助走の充実度により、その後の人生が大きく変わることは疑う余地もありません。大学の役割は、知的好奇心を持つ学生さんたちに学問的真理探究の場を提供し、学究的精神を育むお手伝いをするのですが、それだけではありません。社会に出たときに、充実した時間を過ごすための、道徳的素養をはじめとする、人から尊敬される人間としての素養も身につけなければなりません。そのためには、大学は、一流の教育研究の場を提供し、より崇高な人間の成長を遂げられるように尽力する義務があります。

近年、大学ランキングといっ

た言葉を聞く機会が増えてきたことかと思えます。秋田大学は、世界の大学ランキングの中でも充実したランキングの一つである「THE世界大学ランキング日本版」において、2017年は68位、2018年58位、2019年は48位、そして2020年は47位と着実にその順位を上げています。2018年にも秋田大学が日経HR「価値ある大学 就職力ランキング」において、企業が選ぶ「採用を増やしたい大学ランキング」で堂々の全国第一位に選ばれました。学生に対するイメージでも評価が高く、「行動力」と「対人力」、「知力・学力」、「独創性」のうち「行動力」と「対人力」では全国一と評価されました。このような評価に裏付けられた秋田大学教職員の努力が、学生さんたちの実績に反映されています。こうした評価は、もちろん様々な要因によって変化しますが、今現在の秋田大学の方針が間違ったものではないことを証明しているように思います。私が、大学生活の中で最も重要であると認識しておりますのは、「礼節を知る」ことだと思っています。礼節と

は、人が守るべき礼儀・節度であり、人生を歩んでいくための最低限守らなければならぬ規範です。教職員、諸先輩方、同級生、下級生への接し方、この基礎となるもの、それは礼節を知ることから始まるものです。学生さんたちの礼節を知っ

た上での様々な活動が今や実を結び、こういった様々な数値に表れているものと思いい、誇りに感じていきます。新入生の皆さんが、これから始まる秋田大学での学生生活の中で、知的好奇心を育み、安心して日々を過ごすことがで

きることを約束いたします。そして、秋田大学で充実した助走期間を過ごし、より美しく、より遠くまで飛べることを心より期待して、私からのメッセージといたします。



国際資源学部



新入生へのメッセージ

国際資源学部長 藤井 光



ご入学おめでとうございます。今年の受験はコロナ禍による異例づくめで対応に苦労されたと想像します。しかし、これら試練を乗り越えた皆さんには国際資源学部のグローバルな活動の場が広がっています。

皆さんが入学された国際資源学部は2014年に設立された新しい学部ですが、その歴史は1910年に設立された秋田鉱山専門学校まで遡り、資源分野では国内トップの歴史と伝統を持ちます。本学部の教育と研究では、この歴史を礎に日本の資源やエネルギーの将来を支える国際性高い人

材輩出を目指しており、特に国際資源学部設立後は目覚ましい実績を上げています。そのひとつが海外資源フィールドワーク（FW）で、皆さんには3年次に海外の資源開発現場で約1か月の厳しく

も楽しい実習を行っていただきます。これまでの実績では、FWに積極的に取り組んだ学生は就職や研究活動において優れた結果を残していますので、英語力向上をはじめ十分な準備をしておいてください。



南アフリカ共和国での海外資源フィールドワーク
(ブッシュフェルト複合岩体巡検)

学部生が就職を目指す資源分野では高い語学力が求められますので、これらの努力は皆さんの大きな財産になります。さらに、皆さんには少し将来の話ですが、国際資源学部では文系理系を問わず、大学院への進学的环境を整えており、令和2年度には3件の政府の学生・研究支援事業に採択となりました。これらは①修士課程でアフリカ諸国を対象としてデータサイエンスを用いた鉱山学の研究ができる「世界展開力強化事業」、②博士課程でSDGsの研究を行う給付型奨学金制度（月15万円）、③中央アジア諸国の大学と共同研究を行う「拠点形成事業」です。皆さんがこれらに参加するには時間がありますが、本学部は上記のような



鳥海山麓 猿穴岩での実習

先進的取り組みを続けますので、在学中に国際的プロジェクトに参加するチャンスはいつでもあります。コロナ禍はまだしばらく続く可能性がありますが、国際資源学部では十分な情報収集を行って、できるだけ早く学生の海外派遣を行います。それまでは秋田県内での地質実習・現場見学を頻繁に行いますので、そこで基礎力を高めておいてください。また、授業は一部リモート実施となりますがこれについても順次対面化を進めます。学習に課外活動に充実した日々を過ごしていただくために教職員一同で皆さんの学生生活を全力でサポートしますので悩み事、心配事がありましたらお気軽にご相談下さい。



もあり授業は少なく、研究が活動の大半を占めていました。

私の研究テーマはその鉱山になぜ金が濃集しているのかという金鉱化作用についてでした。そのため研究の初めは現地に行ってサンプルを採取したり、地質調査を行いました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。昨年度は新型コロナウイルスの影響で入試など大変だったと思います。私も授業や研究室の活動はほぼすべてZoomによるリモート授業でした。慣れないオンラインの授業は発言しにくく、研究に必要な議論が難しく感じることもたびたびありました。4年生ということ

時間しか滞在できなかったの野外調査をメインにして文献調査など必要な時のみ学校に登校していました。夕方6時まで登校規制が緩和されましたが、私は大学院進学希望だったので、研究以外にも入試のため学校での作業が必要な場合があり、非常に不便に感じていました。結局登校制限がなくなったのは大学院入

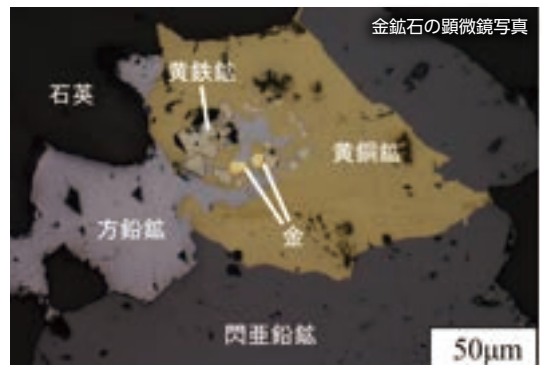
試が終わった9月下旬でした。この時期になると野外調査も終わりに近づき、機械による分析などを行うのがメインとなってきます。前半の登校規制もあり、機械の予約があったという間に埋まります。学校に入れるようになっても自分の思うように研究が進まなく、焦る気持ちが徐々に増えてきます。しかし、このような状況下でも先生方と先輩方の助力のおかげで卒業研究を終わらせることができました。

新入生の方々は大学生活がどのようなものなのか分からず、不安を抱えている人が多くと思います。新型コロナウイルスの影響もあり、なおさら強く感じると思います。でも、安心してください。同級生や先輩、先生方など相談できる相手はたくさんいます。かくいう私もそうでした。大変なことも多いですが大学生活には学業や研究以外にも楽しいことはたくさんあります。不安なことはなるべく早めに相談して輝かしい大学生活を送ってください。

調査地域で見られる含金石英脈



金鉱石の顕微鏡写真



TOPICS

文部科学省令和2年度大学教育再生戦略推進費「大学生戦略推進費」による国際資源学部の「南部アフリカの持続的資源開発を先導するスマートマイニング中核人材の育成」事業が採択されました。

これは、国内資源系大学(秋田大学、九州大学、北海道大学)が連携して鉱物資源開発の新しいあり方を提唱し、国際的な人材育成を通じてアフリカ(世界)の資源産業の変革を目指す、日本と南部アフリカ諸国による協働プログラムで

す。情報工学を取り入れた資源開発学(スマートマイニング)を実践できるグローバル人材を、オンラインやオンデマンドを活用して養成します。

教育文化学部



新入生へのメッセージ

教育文化学部長 佐藤 修司



ご入学おめでとうございます。新しい入試制度だけでなく、新型コロナウイルスの影響により受験勉強も、入試もことのほか大変だったことと思います。この困難を乗り越えたことに自信を持って、大学生活に臨んでください。入学はゴールではありません。みなさんは社会に出て行く準備のためのスタートラインに立ったばかりです。これから能力面でも、人格面でも研鑽を忘れず、また人間関係(力)を豊かにし、心身の健康の増進を図ることに取り組んでください。

「学び続ける教員」とどう言

葉があるように、生涯にわたって成長・発達し続けることが、専門職業人、専門職には強く求められます。それは自らの職業に必要な知識・技能が社会の変化、技術の進歩に伴って常に変化し、高度化していく

からだけではなく、顧客(学校であれば子どもたち・保護者、自治体であれば住民です)の変化、ニーズに対応しながら、学習・発達や生活・生存の権利、そして幸福追求、個人の尊厳を実現すべき責務を負うからです。

新型コロナウイルスに限らず、パンデミックはこれからも続く可能性があります。地球温暖化に伴う気候変動、風水害の多発、予測されている巨大地震・津波、そして、少子高齢化と人口減少への対応、Society5.0と称される未来社会の到来に備えることも喫緊の課題です。

Society5.0とは、狩猟社会、農

耕社会、工業社会、情報社会に続く社会で、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会だそうです。

持・発展させるための教育、研究に取り組んでいます。教育学や心理学などの人間科学から、人文科学、社会科学、自然科学、芸術・スポーツまで幅広い分野を包括する教育文化学部は、その学際性、総合性を生かしながら、学校教育と地域社会の双方で、持続可能な開発(Sustainable Development)に向けた目標(SDGs)の達成と

そのための教育(ESD: Education for Sustainable Development)の実現を目指しています。

TOPICS

教育文化学部附

属中学校3年の高橋麗さんが「第60回

国際理解・国際協力のための全国中学校作文コンテスト」で「公益社団法人ユネスコ協会連盟会長賞」を受賞し、令和2年11月26日に秋田県庁において日本国際連合協会秋田県本部長の佐竹敬久知事から表彰されました。この賞は、全国から1242作品の応募があり、その中から4点選ばれた特賞のうちの一つです。

作品のタイトルは「国連創設100周年の2045年、こんな世界にしたい〜一人一人が尊

重し合い認め合うことの大切さ」です。

例年であれば、この賞の受賞者は春休みにニューヨークの国連本部での研修に参加しますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止されました。

左から佐竹知事、高橋さん





今年度はコロナ禍で様々な制限がある中、教員採用試験や教育実習、卒業論文発表会などを経験しました。教員採用試験に向けては、大学の「自主ゼミ」を中心に、先生方や友人と共に対策に励みました。面接や模擬授業の練習では、友人の姿や授業を観察して参考にしたり、よりよい授業を作るためにはどうしたらよいかを話し合ったりして、協働的な場を作ることができました。さらに、「スタージユ」ではオータムキャンプや語る

会などを通して、先輩方から採用試験や勉強の方法について教えていただきました。春は大学に行くことができなかったため、Zoomなどを介して、自主的に友人と集団面接の練習や勉強にも取り組みました。また、教育実習も例年と異なり、短縮期間内で児童生徒とコミュニケーションをとり、授業を行わなければなりませんでした。そこで、休みの日に友人と集まり、どんな授業にするか意見を出し合ったり、お互いの授業を見

せ合ったりして、実習に臨みました。また、卒業論文のゼミでは、Zoomを通して担当の先生や同じゼミの人と学ぶことができました。特に先生からは、建設的で丁寧なアドバイスを指導をたくさんいただきました。これらの経験を通して、困難な状況にあっても、仲間とのつながりをもち続けることが大切であると実感しています。

また、秋田大学での4年間を振り返ると、課外活動も充実していました。サークルは吹奏楽団に所属し、大会や演奏会で演奏することで、私の好きな音楽に触れ続けることができました。2年生の春休みには、オーストラリアでの語学留学に挑戦しました。英語科教育を専攻している私にとって、英語を使って現地の人とコミュニケーションをとると

のとなりました。自分で実際に行動をすることで得るものは大きいと感じています。大学生は、時間がある程度ゆとりができるため、自分の興味があることに幅広く取り組んでみてください。人と会うことが難しい世の中で、今後について不安が多いと思いますが、新しく出会う仲間や先生方と楽しく、希望あふれる大学生活を送ってください。



模擬授業の様子



留学した時の様子(前列右から4人目)

医 学 部



新 入 生 へ の メ ッ セ ー ジ

医学部長 尾野 恭一



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この1年、新型コロナウイルス感染拡大のため、国民全体がさまざまな影響を受けました。皆さんも、高校の授業が遅れたり、塾や予備校での学習が妨げられたりなど、最も大事な時期に思うように学習がはかどらず、とても苦労されましたね。そんな困難に打ち勝って、見事入学を果たした皆さんの努力に心から敬意を表します。

さて、日本は今新型コロナウイルスとの戦いの真っ最中です。そして、この戦いの最前線にい

るのが医師や看護師など医療従事者です。高度で専門的な技術が必要とされる中、自らや家族の感染リスクという大きなプレッシャーと闘いながら、患者の大切な命を救うために献身的に働いている姿を皆さんもメディアでご覧になったことがあるでしょう。

人命を預かる医療者は高い倫理観と職業意識をもつことが義務付けられ、古くギリシヤ時代に「ヒポクラテスの誓い」として宣誓文に残されています。それを現代に受け継いだが、医師ではジュネーブ宣言（1948年）、看護師ではナイチンゲールの誓詞（1893年）です。その中にあるのが、「私は人類への奉仕に人生を捧げると誓う」という一文です。

多くの医療者が危険を顧みずに働くのは、この精神が宿って

いるからです。皆さんも医療人を目指してここに来た以上は、医療人としての基本的な心構えを是非身につけてほしいと思います。医学・医療の進歩はめ

流の幅を広げることも大切です。多くの人との出会いが、君たちをますます成長させてくれるに違いありません。積極的にチャレンジして下さい。

皆さまが入学した令和3年4月の段階では、人々は、密を避け、行動を制限し、マスクや手洗いなどの防御策により何とか感染の広がりを抑えようとしています。でも、開発開始から1年足らずという驚異的なスピードで、待望のワクチン接種が始まりました。また、水面下では多くの医学研究者が、治療薬の開発にも取り組んでいます。おそらく皆さんの在学中には、人類の英知により新型コロナウイルスを封じ込め、

日常が取り戻せると思います。皆さんはその様子を体感することができのです。感染拡大収束の背景に、医療者や研究者が、どのような発想で、どのような実験と調査をおこない、何を成し遂げたのか、これを専門的知識をもって在学中に理解できるようにしてください。それらを知ること、一歩進んだ専門的医療人への道が見つかると思います。



医学科学生による患者シミュレータを用いたトレーニングの様子



新入生の皆様、この度はご入学おめでとうございます。受験勉強をしていた昨年度は新型コロナウイルス感染症で普段とは違う日常生活だったと思います。いよいよワクチン接種も始まり、明るい兆しも見えてきました。秋田大学医学部附属病院(以下附属病院)にも明るさが戻ってきました。

さて、附属病院は本道キャンパスにあります。秋田県の医療の中心として、臓器移植や骨髄移植、ロボット支援手術に代表される低侵襲手術、難治性がんや難治疾患に対する集学的治療、PET-CTを

はじめとする高度画像診断技術など、良質で最先端の医療を秋田県民を中心に提供しています。附属病院では、これらの医療を見据えて新たな2つのセンターを最近相

次いで設置しました。令和3年2月1日に総合診療医センター、そして4月1日に高度救命救急センターです。総合診療医、救命医、救急看護師、いずれも皆さんがテレビやアニメで見えてきた憧れの医療者像と重なると思います。総合診療医は探偵のように病気の謎を推理します。総合診療医は患者さんを臓器の集合体としてではなく、一人の人間として全人的に診めます。高度救命救急センター、ここでは24時間昼夜を問わずあらゆる救急患者を診めます。急を要する患者が遠方にいる時にはドクターヘリが

飛んできます。夜間や天候がよくない時にはドクターカーに飛び乗って患者が待つ救急車まで駆けつけます。皆さんが高校生の時に夢に見ていた出来事が目の前で展開されています。基礎的な知識を講義などで得たのちに附属病院での実習が始まります。皆さんは実習では白衣を着ます。患者さんから見ると皆さんは資格を持った医療従事者と一見区別が付きません。ひとたび

附属病院での実習が始まったら、医療従事者と同等の自覚を持って行動していただきたいと思えます。実習では教員の指導のもと、実際の患者さんに対して医療行為を行います。実際に患者さんの手術に立ち合います。チャンスがあれば患者さんの傷を縫うこともありです。患者さんの癌の宣告やご臨終に立ち会うこともあるでしょう。新しい命の誕生に立ち会うこともあるでしょう。附属病院は皆さんが卒業後に働く職場にもなります。附属病院には皆さんが思い描いていた未来があります。将来、秋田大学の教員として附属病院で学生に教育

する立場になる人も出てくるでしょう。その時には医療従事者を志した今の皆さんの気持ちをきっと思い出すでしょう。最後にりましたが、秋田大学医学部の学生であることに、誇りと責任を持って楽しいキャンパスライフを送ってください。

TOPICS

医学部附属病院は、幅広い領域の病気を診る総合診療医を養成する拠点「総合診療医センター」を2月1日に開所し、2日に開所式が行われました。学生教育から卒業研修、医師の学び直しまでを一貫して行います。

は、地域医療を担う人材を育てる「地域枠」の学生を主な対象に、県内外の医療機関と連携した実習プログラムを実施するほか、医師不足の地域の医療機関に医師を派遣する調整役も担います。



新生児を優しくケアする看護師



左から近藤克幸理事、山本文雄学長、尾野恭一医学系研究科長、南谷佳弘病院長



秋田大学本道キャンパス生協前(右から2人目が張野さん)

昨年は新型コロナウイルスの流行が始まり、混乱する情勢の中、私は就職活動と国家試験の準備をすることにになりました。病院見学に行くのにも普段以上に体調管理を徹底する必要があったことや多くの研修病院が就職活動の面接や筆記試験をオンラインに移行したことで前例のないものに対応しなければ



旅行の様子(前列右側が張野さん)

ばならなかったことが特に大変だったと感じています。医学部の勉強については、大学の先生方がいち早くリモート授業を取り入れてくださったため、4月頃よりサポートは十分にありました。しかし、自学習を完全に1人で行うのは記憶が定着しているのか、周りと同じ勉強ができていくのかについて不安が

ありました。その対処法として、私は大学のリモート授業の他に、オンライン上での勉強会を行っていました。具体的には、Discordなどの通話サービスを利用して、『25分勉強をする→5分自分の勉強したことを他の人に教え合う』の繰り返しをしていました。同学年の友人達と病態について教え合い議論を重ねる事で国家試験の膨大な範囲を頭に入れました。

国家試験だけでなく各学年の進級試験においても友人の存在は本当に貴重でした。新入生の皆さんには、入学したら、まず気の合う友人を見つけてくれることを心より勧めます。私は高校時代まで勉強を理数系の科目に頼って乗り越えてきたので、医学部の勉強における暗記のウェイトの重さに最初は適応できませんでした。そんな時に効率的な暗記方法を根気強くアドバイスし続けてくれた友人には今でも頭が上がりません。

私は秋田大学に来て、生ま

れ育った場所とは全く違う価値観に沢山触れました。それは国家試験合格率を高く維持しながらも、学生を試験縛りにすることなく自由な学生生活を送れるように大学の教育面が工夫されていたおかげだと思っています。勉学以外にも部活動やアルバイトに励んだり、秋田のお祭りに参加して地元の人と話した時間はこれからも

大切な思い出になると思います。受け身でも多くの情報が入ってくる首都圏とは対照的な環境ですが、落ち着いた環境の中で自分という人間の強みにも弱さにもしっかり向きあえた6年間はかけがえの無い時間でした。これから入学される皆さんも、今しか出来ない経験を大切に、充実した学生生活を送ってください。応援しています。

TOPICS

医学系研究科(生体防衛学講座)の安田大恭助教が、令和2年度秋田わか杉科学技術奨励賞を受賞し、令和2年11月16日、秋田県庁にて表彰式が行われました。

本賞は秋田県内の優れた若手研究者を表彰するものであり、平成19年度に開設されました。

受賞された研究テーマは「生理活性脂質リゾホスファチジン酸によるリンパ管新生の分子構造と病態制御機能」。リゾホスファチジン酸(LPA)に



左から佐竹知事、安田助教

よるリンパ管形成の分子メカニズムと、リンパ管関連疾患であるリンパ浮腫、各種がんの進展、発毛異常に「ロ」が果たす役割を明らかにするための研究が評価されました。本研究成果が、リンパ管関連病態の新たな治療薬開発のための基盤になることが期待されています。

理 工 学 部



新入生へのメッセージ

理工学部長 山村 明弘



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。センター試験が大学入学共通テストに変更され、英語民間試験や記述式問題に関して混乱し翻弄され続けた二年だったと思います。加えて、新型コロナウイルス感染拡大のため日常生活も変わり悪いことばかり続きました。しかし、大学入試も終わり新型コロナウイルスのワクチン接種も始まりました。ようやく世界がよい方向に向かい始めたようです。悪い状況をうまく利用してよい状況に変えることを表現する言葉として「転禍為福」(てんかいかいふく)があります。未曾有の惨事から学ぶことは少なくないでしょう。移動や行動を

方で周りの人を助けて生きていきます。周りの人間と連携することの重要性を再確認できたのではないのでしょうか。科学は自然現象を理解しその法則性を明らかにする学問であり、技術は科学を応用して人間生活に利用することを目指すものです。現在では科学と技術は相互に影響し合い区別できなくなっています。科学技術を社会的動物である人間はどのように活用すべきなのでしょう?この一年の災禍も含めて世界は多くの問題を抱えています。地球規模の気候変動などが深刻になるにつれて未来の世代も私たちと同じ暮らしを享受できるのか懸念され

制限される新しい生活様式の中で、今までは当たり前と思ってきた人とのコミュニケーションの重要性を痛感したのではないのでしょうか。人間は社会的動物です。社会の中で周りの人から助けてもらい、一

始めています。知性を持つ社会的動物である人間は地球の環境破壊を抑え持続可能な社会を築くことに科学技術を活用すべきでしょう。皆さんには現在の人類だけでなく未来の人間とも連携することが期待されています。秋田県は再生可能エネルギー源に恵まれており、それは持続可能な社会の構築に向けて大きな可能性を秘めています。理工学部でも再生可能エネルギーに関連してリチウムイオン電池、固体燃料電池や高密度蓄電デバイス、光・電子デバイス、次世代モーター

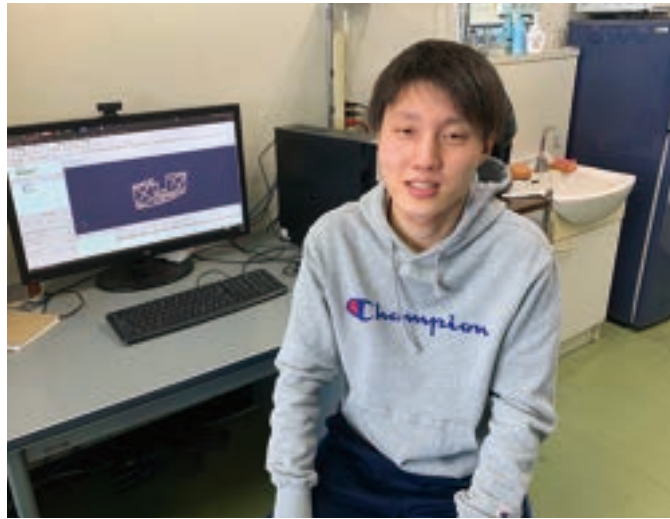
タとその応用としての電動化システム・航空機電動化を学ぶことができます。さらに持続可能な社会の構築のため先進ヘルスケア、先端機能材料、無機材料有機材料、生体分子の構造と生理機能解析、社会基盤の整備・維持・管理、そしてデータ駆動型科学の原動力となる数理・データサイエンス・AIを学ぶことができます。皆さんの中からこれらの研究分野を極めて未来を切り拓く方が現れて「禍を転じて福と為す」ことが実現されることを願っています。

TOPICS

理工学研究科の水戸部一孝教授(人間情報理工学コース)と齋藤正親技術専門職員の「採血手技自習支援用MRシステムの研究が、一般財団法人先端表現技術利用推進協会主催の第4回羽倉賞において「奨励賞」を受賞しました。羽倉賞では、分野を問わず最先端の表現技術を活用した「作品」及び「取り組み」を通して社会に貢献した功績が表彰されます。「顕微鏡レベルの分解能」を備え、生体を透過する磁場で計測する磁気式モーシヨンキャプチャ

で収録された「習熟者の採血手技」の立体映像を視認しながら、採血時の「シリンジの持ち方」、「刺入時の角度や速度」、「血管内での針先の進め方」等を観察できるなど、自身の手技と見比べながら模倣学習ができます。





授とのやり取りがメールでしか行えなかつたりなど満足に研究作業を行うことができませんでした。また、受験予定であった国家総合職や国家一般職などの公務員の一次試験も延期となったため、自宅で試験勉強をしていました。

今年新型コロナウイルスの影響で研究作業といった学校生活に大きな支障ができました。

4月～6月は緊急事態宣言が発令された影響もあり、研究室に入ることすらできませんでした。教授からノートパソコンが支給されたため、自宅で解析を行い、研究作業を進めていきました。しかし、ノートパソコンのスペックだと解析に時間がかかってしまったり、教

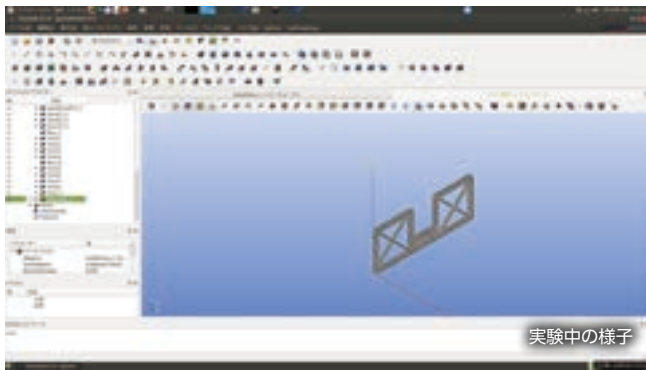
7月からは月水の午前中だけと、曜日・時間の指定はありながらも研究室でゼミナール(以下、ゼミ)などの研究作業を行うことができました。この時期は自宅で解析をして分からなかった部分をゼミで聞き、それをもとに自宅で解析を進めるといった作業を繰り返していました。短い時間ではありましたが、教授やゼミの仲間たちとコミュニケーションをとる時間は非常に貴重でした。

8月からはアルコール消毒などの感染対策をしっかりと行つたうえで自由に研究室を出入りすることができるようになりました。この時期から複雑な解析を行うことが多く、研究室のパソコンで解析を行う状況が増えたため、自由に入出りできることが非常にありがたかったです。

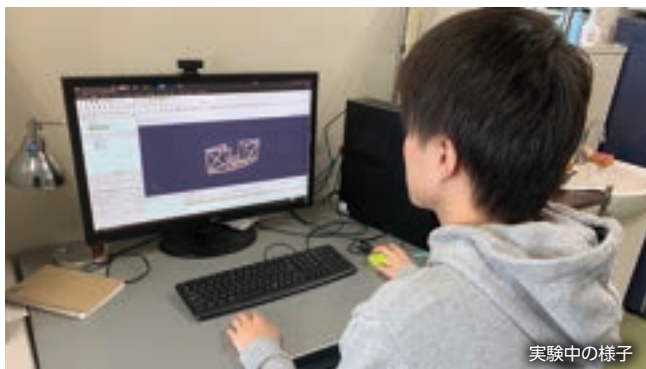
その後も消毒やソーシャルディスタンスなどの感染対策を続けながら、4月～6月の遅れを取り戻そうと必死に研究作業を進めていきました。そして、2月の卒論発表会で

は無事に研究を発表することができました。

今年新型コロナウイルスの影響もあり、満足に研究作業や就職活動を行うことができない日々が続きましたが、色々な人の協力もあり、最終的には卒論発表を行うことができました。新入生の皆さんは大学生活に少なからず不安を感じることがあると思いますが、大学では様々なことをサポートしてくれます。安心して大学生活を楽しんでください。



実験中の様子



実験中の様子

最適空間へRetuningする

サイカツのミッションは、今の空間を”Retuning”して快適な空間へアップデートすることです。

Saikatu サイカツ建設

事例：高清水様「倉 // 蔵 (KURA KURA)」 saikatu.co.jp/

Create & Infinite

DOWAホールディングスは135年余の歴史の間、非鉄金属に関わる技術で社会を支え続けてきました。金属の製錬から加工、リサイクルまで、資源循環の全側面に関わり、展開する多様な事業領域では、独自のインフラを駆使し、数々のトップシェア製品を生み出しています。

DOWAホールディングス株式会社
 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX22階
 TEL:03-6847-1102 FAX:03-6847-1271
 http://www.dowa.co.jp/

かぎりあるものから無限を創ろう

学外の有識者より 新入生へのメッセージ

秋田経済同友会代表幹事 佐川 博之
 (株式会社秋田魁新報社 代表取締役社長)



皆さんは、百年に一度と言われる災厄の中で受験期を過ごされました。多くの制約の下で、我慢を強いられればなしの高校最終学年だったことでしょうか。

皆さんより一足先に大学生になった諸先輩もまた同じです。対面授業がなくなったり、仲間と触れ合う機会が激減したり。夢見ていたものとは違ったキャンパスライフになりました。

「受難の世代」と形容される皆さんですが、新型コロナウイルスの脅威には全人類が直面しております。置かれた境遇は程度の差はあれ、万国共通なのです。そんな境遇を不運とするか、自らを鍛える肥やしとみるか。

それは皆さんの心持ち次第です。ウイズコロナの体験を今後の人生にどう生かすのか。大学生になったばかりの皆さんが最初に熟考すべき大きなテーマとなります。

最近ではコロナ禍ばかりに目を奪われがちですが、地域の衰退という秋田県が抱える課題は深刻です。超高齢化と人口減少で地域の維持が困難になりつつあります。私どもは、そうした課題解決に意欲的に立ち向かう人材を渴望しています。変わるのを待つのではなく、自らを変えてみせようという気概を持った人材です。

昭和という時代は遠くになりましたが、戦時中には大学生が勤労奉仕に動員されたり、出征を余儀なくされた辛い時期がありました。そうした苦境を乗り越えたからこそ、その世代には戦後復興の礎を築くたくましさがあったのです。コロナ禍にある皆さんにも同様のたくましさを目指しています。

秋田魁新報社との 包括連携協定 記念コラム



秋田魁新報社 能代支所
 斎藤 慎太郎 (横浜市出身)

PROFILE

2018年 3月 大学院理工学研究科
 数理・電気電子情報学科修了
 2018年 4月 秋田魁新報社入社
 政治経済部配属
 2019年 10月 整理部
 2021年 4月 能代支所

県内企業の魅力に目を

今年も就職・採用活動が本格化している。新型コロナウイルスの影響で、昨年相次いで中止となった合同企業説明会は、全国的に会場の人数制限や日程の分散、オンライン化などの感染対策をしながら実施されている。

私が所属(2021年3月現在)する整理部は、原稿に見出しを付け、紙面をレイアウトするのが主な仕事。国内外の政治、経済、スポーツなど多岐にわたる面を日替わりで担当している。

数あるニュースの中で私が関心を持つのが労働分野。整理部に異動する前、就活について取材した経験があるからだ。

政治経済部の記者だった3年前、人生初めての取材は秋田市で行われた合同企業説明会だった。

人手不足が深刻化する中、多くの県内企業がブースを設置。ただ、学生に人気なのは知名度の高い銀行や大手メーカーなど一部のブース。目当ての企業の説明が終わると会場を後にする学生も目立ち、多くの企業を知る機会を逃してしまっていると感じた。

労働担当の記者として感じたのは、秋田には世界に誇れる技術や地域に根差した販売網を持つ企業など、さまざまな魅力を持つ企業がたくさんあることだ。そうした企業にもっと目が向けられてもいい、と率直に思う。

コロナ収束が見えない中、人口が密集する都市部の課題が浮き彫りになり、地方での生活が見直されている。さまざまな地元企業への関心が高まり、秋田を元気にする若者たちがもっと増えてくれればと心から思う。

パソコン、スマホで
 秋田の情報ゲット

1日1本全文が読める
 無料コースも

秋田魁新報 電子版

<https://www.sakigake.jp/>

さがかけ 検索

不要な木材片は、優れたエネルギーに変わる。
 カーボンニュートラルで、環境に取り組んでいます。
 自社工場ではペレットを加工、お客様へお届けいたします。

木質ペレット
 ストローブ
 のことなら

北秋容器株式会社

〒017-0872 秋田県大館市片山町三丁目1-47
 TEL/0186-49-1675 FAX/0186-49-1676

新型コロナウイルス感染症対策の学生支援制度

秋田大学独自の支援

学生への緊急支援事業 (秋田大学奨学資金の貸与)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、アルバイト先の休業や保護者からの仕送りの減少等によって生活に困窮している学生が修学を断念することがないよう、秋田大学では独自の貸与型奨学資金制度を行っています。

学生本人の収入(アルバイト収入、仕送り等)の減少等により、一時的に学資(授業料・教材費等)及び生活費の支弁が困難な場合は一人30万円以内を、学費(入学金・授業料)の支弁が困難な場合は入学金・授業料相当額を貸与します。

- お問い合わせ先
秋田大学学生支援・就職課学生生活担当
TEL 018-889-2265

学生支援金給付事業 (返済不要)

新型コロナウイルス感染症の影響により、学業及び生活に支障を来し、支援を要する状態となったと認められる学生に対し、一人3万円を給付型奨学金として支給します。

- 1次募集(62名に給付)／令和2年12月)
- 2次募集(39名に給付)／令和3年 2月)

- お問い合わせ先
秋田大学学生支援・就職課学生生活担当
TEL 018-889-2263

新入生育英奨学資金制度

平成26年に解散した財団法人土崎感恩講より経済的困窮学生支援の目的でいただいた寄附金を原資として、学部新入生を対象に平成30年度から設立した秋田大学独自の給付型奨学金制度です。

奨学金の給付金額
10万円(入学時1回限り)
※入学金免除許可者は5万円

- お問い合わせ先
秋田大学学生支援・就職課学生生活担当
TEL 018-889-2265

学生サポート

保健管理センター

TEL:018-889-2955
MAIL:hoken@gipc.akita-u.ac.jp

保健管理センターでは、学生の皆さんが心身共に健康で大学生活を送ることができるよう、サポートしています。

新年度が始まり、新たな環境での生活がスタートした方も多いと思いますが、未だコロナ禍にあり、通常の生活が出来ない状態にあります。急な体調不良で大学を欠席する際には、保健管理センターに連絡、相談をしてください。

医師・看護師が常駐しているので、急病やケガの応急処置、病院紹介などに対応します。

また、心の悩み相談にも対応しており、必要があればカウンセラーにつなぐことも可能です。そのほか、身体測定やアルコールパッチテスト、禁煙外来等、健康に関する助言や指導もしており、自分自身で健康チェックをしたい時にも利用できます。

皆さんが気持ちよく利用できる場所を用意していますので、お気軽にご利用ください。

5月・6月に学生定期健康診断を予定しています。

健康診断は病気や異常の早期発見に役立ち、自分の身体に関心を持ち健康について意識する良い機会です。日程を確認して必ず受けましょう。

よろず相談室 (おどってたんせ※)

TEL:018-889-2265
MAIL:g-kikaku@jimu.akita-u.ac.jp

学生相談ダイヤル

TEL:0120-89-2265(24時間対応)

秋田大学では、学生の皆さん一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう様々なサポートをしておりますが、そのひとつとして、学生生活において困ったときの相談窓口「よろず相談室(おどってたんせ)」を設けております。勉強のこと、人間関係のこと、アルバイトのことなど悩んでいることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

また、24時間対応の電話相談窓口として「学生相談ダイヤル」も開設しております。学生生活における悩み、緊急を要する案件(事故、事件等)やトラブルに巻き込まれた、あるいは巻き込まれそうでもと不安だという方など、24時間対応しておりますのでいつでも相談してください。

(※)「おどってたんせ」・・・秋田弁で「どうぞおいでください」という意味です。

学生サポートルーム

TEL:018-889-3142・018-889-3143
MAIL:s-room@jimu.akita-u.ac.jp

「こんなときどうしたら…?」。大学生には勉強や一人暮らし、進路や人生の問題など、いろいろな悩みや困り事がつきものです。何か迷ったり上手くいかないことが起きたとき、ストレスや不安とどう付き合うかはキャンパスライフにおける大切なテーマの一つです。

そんなとき、まずは自分で頑張ろうとする姿勢も確かに大事ですが、ときには一人で抱えず誰かに話してみましよう(相談)。学生サポートルームでは、学生さんからのどんな相談にも応じています。特に新入生の皆様は、時間割の作り方・学習で困ったときの対処法・スケジュールや生活管理のコツ・どこに相談すればいいかわからないとき…など、まずはご連絡ください。

相談員は女性と男性それぞれおり、在学中は継続的にご利用いただくことも可能です。また、様々な障害のため修学上の配慮が必要な場合のご相談にも応じていますので、学生のほか、保護者の方もいつでもご相談いただけます。

「おどってたんせ」は手形キャンパスの学生支援棟1階にあります。「学生サポートルーム」は同棟2階で、相談室のほか自習・休憩が出来るスペースもあります。また、本道キャンパスでも毎週木曜日に相談窓口を開設しています。



秋田県厚生農業協同組合連合会

かづの厚生病院 (鹿角市)	北秋田市民病院 (北秋田市)
能代厚生医療センター (能代市)	湖東厚生病院 (八郎潟町)
秋田厚生医療センター (秋田市)	由利組合総合病院 (由利本荘市)
大曲厚生医療センター (大曲市)	平鹿総合病院 (横手市)
雄勝中央病院 (湯沢市)	

JA秋田厚生連 検索

自然の力を、
人の力で、
社会の力で、

社会を支える、
底力。

日鉄鉱業株式会社 www.nittetsukin.co.jp

次代を担う秋大生の
学びを応援します

北都銀行

三井金属

140年を超える歴史。
1万人の知恵。
三井金属

三井金属鉱業株式会社
<https://www.mitsui-kinzoku.com>

マテリアルの知恵を活かす

医療現場の
真剣なまさをサポート

信頼を届けて 45 年

株式会社 秋田医科器械店

本社 / 秋田市仁井田字中谷内130-2 〒010-1423
Tel.018-839-3551 • Fax.018-839-3546
横手営業所 / 横手市赤坂字大道向2-4 〒013-0064
Tel.0182-32-8311 • Fax.0182-32-8313
能代営業所 / 能代市落合字釜谷地189 〒016-0014
Tel.0185-52-0024 • Fax.0185-54-7319

おいしい魚を世界の海から食卓へ

丸水秋田中央水産

代表取締役社長 鈴木 信夫
秋田市外旭川字待合 28
TEL 018-869-5311代 FAX 018-868-1931

資源に変える智恵
エネルギーに変える力

ユナイテッド計画株式会社
〒018-1414 湯上市昭和豊川槻木字機13-1
TEL.018-877-3027 / FAX.018-877-3986

NTT東日本

「ICTで、「つなぐ」の先へ」

TDK

いい暮らし、届けたい。

nices

秋田県内10店舗営業中

•外旭川店 •仁井田店 •新屋店 •割山店 •追分店 •八橋店
•仁井田南店 •土崎店 •山手台店 •本荘インター店

www.nices.co.jp

alfresa

原薬は、くすりのいのち。

アルフレッサ ファインケミカルは、
高い技術力を育み、
安心・安全・誠実なモノづくりを通じて、
世界の人々の健康で
豊かな生活に貢献します。

アルフレッサ ファインケミカル株式会社
〒010-1601 秋田市向浜一丁目10番1号
TEL.018-863-7701 FAX.018-864-0708
URL <http://www.alfresa-fc.co.jp>
代表取締役社長 大島 由庸

緑豊かな秋田の工場公園から

秋田から日本全国へ、
そして世界の人たちへ、
いきいきと健やかな「笑顔の花」を
咲かせてまいります。
高い技術をお受け持つこの美しい環境は、
国際基準に適合する
高品質の原薬を製造するのに最適な場所です。

～トヨタ自動車100%出資企業～

株式会社 協豊製作所

未来をともに ゆたかに
Together Toward a Brighter Future

ホームページ

愛知県豊田市トヨタ町6番地

口座残高も。
入出金明細も。
スマホでいつでも
確認できる。

秋田銀行 | あきぎんアプリ

秋田大学みらい創造基金

「秋田大学みらい創造基金」は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という大学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

みらい創造基金による事業紹介

学生支援金給付事業(一般基金)

新型コロナウイルス感染症の影響により、学業及び生活に支障を来し、支援を要する状態となったと認められる学生に対し、一人3万円を返済不要の給付型奨学金として給付しています。

給付額の内2万円は秋田大学生協の食堂や売店(食品の他、教科書、参考書、文房具等を販売)で使用できる電子マネーへのチャージにより給付します。

令和2年12月に一次募集、令和3年2月に二次募集を行い、留学生を含む延べ101人に給付しました。

大学会館食堂のパーテーション設置(一般基金)

手形キャンパスの大学会館食堂のテーブルに、新型コロナウイルス感染症対策としてパーテーションを設置しました。

大学会館食堂は多くの学生・教職員が利用しますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常より座席数を減らして営業していました。新学期を前により多くの利用者が安心・安全に食堂を利用できるよう環境整備を行いました。



大学会館食堂

医学部実習室等の備品整備(医学部寄附金)

医学部医学科2年次必修の人体解剖学を行う実習棟・講義棟第一実習室で使用する丸イスを医学部寄附金により購入しました。

実習時は慎重な取り扱いが必要となる機器を使用していますが、使用していた椅子が老朽化していたため、イスの更新により学生が安心して実習に臨む環境を整えることができました。

また、医学部保健学科学療法学専攻及び作業療法学専攻の講義・実習で使用する起立訓練ベッド一式と電動車椅子を医学部寄附金により購入しました。

これらの機械器具は理学療法士作業療法士養成の教育上必要不可欠なもので、学生の講義・実習の際に有効活用しております。

※その他の事業については、秋田大学ホームページで紹介しています。



実習室の丸椅子



電動車椅子



起立訓練ベッド

ご寄附のお願い

- ◆個人の方
一口……1,000円
- ◆法人の方
一口…10,000円

- 〈ご寄附の方法〉
- 振込によるご寄附
 - クレジットカードによるご寄附
 - 古本募金によるご寄附
 - 遺贈によるご寄附

※詳細につきましては、秋田大学ホームページをご覧ください。基金事務局までお問い合わせ下さい。

古本募金のお願い

読み終わった書籍(CD・DVD等を含む)を本学の提携業者(チャリぼん)が買い取り、その売却代金をご寄附いただく「古本募金」をぜひご利用ください。5冊以上から送料無料でご指定の場所に集荷に伺います。ご希望の方は、チャリぼんホームページからお申し込み下さい。なお、一度に集荷できる古本は3箱までとさせていただきます。

※令和2年9月よりお電話での集荷申込み受付は行っておりません。ご了承下さい。



寄附者ご芳名

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業・団体等	株式会社アイ・カンパニー様	個人	浅田 昌弘様	桑島 精一様	田澤 千寿子様	猪股 祥子様
	秋田県厚生農業協同組合連合会様		池上 俊哉様	齋藤 稔様	戸澤 秀雄様	大高 麻衣子様
	秋田市役所 路学会様 (秋田大学教育学部・教育文化学部同窓会)		市川 逸郎様	佐藤 健一様	松本 敏江様	高橋 紀夫様
	秋田大学有志一同様		伊藤 秀一様	佐藤 賢治様	松本 操様	仲澤 公司様
	株式会社 KANEKO様		加藤 末廣様	三戸 学様	向島 偕様	山村 明弘様
	総合施設株式会社様		木口 哲也様	高野 華澄様	目時 秀一様	
			木村 清英様	高山 芳則様	渡部 アヤ子様	

他 匿名希望 27名様・法人様(令和2年12月～令和3年2月末入金分 五十首順)

お申し込み
お問い合わせ先

秋田大学みらい創造基金事務局 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 ☎018-889-3266

秋田大学みらい創造基金は、秋田大学ホームページからお申し込みいただけます。

https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html



丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に 一般財団法人 丁酉会

ていゆうかい
保険調剤 丁酉会薬局

秋田大学病院前

秋田大学生協は秋大生を応援します

大学生の学生生活を日常的にサポートするのが大学生協です!



各店舗の営業時間もここからチェック!

秋田大学生協サポートセンター ☎ 0120-327-141

